

施策番号	1402		
施策名	自立した地域生活への移行促進		
概要	障害のあるひとが地域社会のなかで安心してくらすための保健医療施策を充実させるとともに、福祉施設や精神科病院から地域生活への移行を促進する。		
担当局・部室	保健福祉局・障害保健福祉推進室	共管局・部室	
上位政策	14 障害者福祉		
施策に関する主な分野別計画等	支えあうまち・京都ほほえみプラン		

施策の評価

1 客観指標評価

指標名	26年度	27年度	28年度評価					
			前回値	最新値	目標値	達成度	評価	指標のウェイト
1 居宅介護等の利用時間数(時間)	a	a	165,111	176,719	182,826	96.7%	b	1.00
2 グループホーム等の利用者数(人)	a	a	699	748	699	107.0%	a	1.00
3 自立支援医療の受給者数(人)	a	a	33,574	31,367	33,574	93.4%	c	1.00
4 -	-	-	-	-	-	-	-	-
5 -	-	-	-	-	-	-	-	-
6 -	-	-	-	-	-	-	-	-
			客観指標総合評価				b	

2 市民生活実感評価 *この評価は、毎年5月頃に実施している京都市市民生活実感調査のアンケート結果を基にしています。

設問	26年度	27年度	28年度回答						
			そう思う	どちらかと言うとそう思う	どちらとも言えない	どちらかと言うとそう思わない	そう思わない	有効回答者数	評価
1 障害のあるひとが、みずから必要な福祉サービスを選択し利用することで、住み慣れた地域でくらしやすくなっている。	c	c	20 4.5%	114 25.7%	197 44.5%	69 15.6%	43 9.7%	443	c
2	-	-							-
3	-	-							-
4	-	-							-
5 -	-	-							-
			市民生活実感調査総合評価						c

3 総合評価(客観指標総合評価＋市民生活実感調査総合評価)

B	施策の目的がかなり達成されている					27 年度	B
	重み付け	<input checked="" type="checkbox"/> 客観指標	b	<input type="checkbox"/> 市民の実感	c		
(重み付けの理由) 障害のあるひとの自立した地域生活移行を促進するという、対象が限られた施策であり、市民の生活実感に施策の効果が反映されにくいと考えられるため、客観指標を重視する。						26 年度	B
(原因分析) 客観指標総合評価 <input checked="" type="checkbox"/> b評価以上であり、施策の効果が客観指標に表れている。 <input type="checkbox"/> c評価以下であり、次の原因が考えられる。							
(原因分析) 市民生活実感調査総合評価 <input type="checkbox"/> b評価以上であり、施策の効果が市民の実感に表れている。 <input checked="" type="checkbox"/> c評価以下であり、次の原因が考えられる。 ・障害のあるひとの在宅生活を支える福祉サービスの利用時間数・利用者数は増加しているが、「どちらとも言えない」の回答が4割を超えていることから、障害のあるひとの地域生活に対する関心と理解が十分に広がっていないことが考えられる。							

今後の方向性の検討

<この施策を構成する事務事業>

	事業名	事業費の状況(千円)		28年度事務事業 評価結果における 目標達成度評価	担当局
		27年度 決算額	28年度 予算額		
1	重度心身障害者医療費支給事業	2,424,445	2,477,095	良い	保健福祉局
2	外国籍市民重度障害者特別給付金支給事業	17,494	18,955	良い	保健福祉局
3	発達障害者支援センター運営事業	78,480	82,228	良い	保健福祉局
4	心身障害児(者)訪問療育指導事業	11,638	11,613	良い	保健福祉局
5	在宅心身障害児(者)療育支援事業	25,299	26,244	良い	保健福祉局
6	障害児通園(児童デイサービス等)事業運営補助	35,365	48,594	普通	保健福祉局
7	心身障害児者レスパイトサービスモデル事業(元気家族リフレッシュサポート)	14,650	15,969	普通	保健福祉局
8	介護従業者研修	1,272	1,925	良い	保健福祉局
9	障害児者ホームヘルプサービス(家庭奉仕員)	333,249	306,616	普通	保健福祉局
10	京都国際社会福祉センター運営補助	1,960	1,948	良い	保健福祉局
11	身体障害者福祉会館運営	107,714	102,399	良い	保健福祉局
12	京都ライトハウス運営助成	132,560	130,700	普通	保健福祉局
13	身体障害者療護施設運営補助	44,485	35,703	良い	保健福祉局
14	盲人ホーム運営助成	8,079	8,087	良い	保健福祉局
15	民間障害福祉施設運営助成	351,106	355,937	良い	保健福祉局
16	児童療育センター運営事業	47,456	18,407	良い	保健福祉局
17	精神科救急医療システム	100,121	93,761	良い	保健福祉局
18	地域精神保健福祉対策	10,311	10,488	かなり良い	保健福祉局
19	精神科病院実地指導・実地審査	10,783	10,854	良い	保健福祉局
20	障害者地域生活支援センター運営事業	448,224	454,473	良い	保健福祉局
21	障害児・者福祉サービス利用支援策「新京都方式」	296,603	327,108	—	保健福祉局
22	京都市障害児タイムケア事業	85,493	86,772	普通	保健福祉局
23	障害者自立支援医療特別対策	30,264	31,351	良い	保健福祉局
24	発達障害児支援事業	24,194	24,194	良い	保健福祉局
25	こころのサポート地域活動助成事業	28,517	30,101	良い	保健福祉局
26	あんしん生活緊急サポート事業	9,475	8,268	普通	保健福祉局
27	軽度・中等度難聴児に対する補聴器購入費助成事業	3,013	3,053	良い	保健福祉局
28	児童福祉センター療育事業委託	121,389	121,389	普通	保健福祉局
29	心身障害児者総合支援事業	1,928	1,929	普通	保健福祉局
30	福祉ホーム運営補助(身体・精神)	8,674	8,886	普通	保健福祉局
31	放課後等デイサービス等設置促進事業	18,880	17,089	良い	保健福祉局
32	京都市若杉学園	173,414	0	良い	保健福祉局
33	重度障害者等利用事業所支援事業	96,512	242,172	悪い	保健福祉局
34	地域生活支援拠点運営	16,400	19,491	かなり良い	保健福祉局
35	地域リハビリテーション推進センター	573,771	566,328	かなり良い	保健福祉局

36	聴覚言語障害センター管理運営	16,990	16,990	—	保健福祉局
37	飛鳥井学園管理運営	8,970	8,971	—	保健福祉局
38	京都市健康増進センター（ヘルスピア21）	59,111	59,922	—	保健福祉局
39	京都市子ども保健医療相談・事故防止センター（京（みやこ）あんしんこども館）	48,905	37,249	—	保健福祉局

* 予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

<今後の方向性>

- ・障害のあるひとの自立した地域生活への移行を促進するため、一人一人のニーズに応じたサービス提供を行うとともに、家族の介護負担を軽減する観点からも、きめ細やかな在宅生活支援施策の実施や、グループホームの設置促進等に努めていく。
- ・また、サービス利用等に当たって、必要な情報を提供し、自己選択・自己決定が可能となるよう相談支援の環境を整えていく。

施策名	1402	自立した地域生活への移行促進
-----	------	----------------

指標名	居宅介護等の利用時間数（時間）
-----	-----------------

担当課	障害保健福祉推進室	連絡先	222-4161
-----	-----------	-----	----------

1 指標の説明

障害のある方に対する居宅介護等事業（ホームヘルパーの派遣）の一月当たりの利用時間数

2 指標の意味

障害がある方の自立した地域生活への移行に向けた居宅介護の進捗状況を示す指標

3 算出方法・出典等

算出方法：年間延べ利用時間数÷12月
出典：事業担当課調べ

4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	26年度	27年度		数値	根拠	達成度
数値	165,111	176,719	11,608時間増	182,826	京都市障害福祉計画を実現するために必要となる時間数の見込み	96.7%

	全国順位	中長期目標			根拠
		数値	目標年次	達成度	
数値					

備考	京都市障害福祉計画に基づく目標値に変更
----	---------------------

5 評価基準

最新数値の目標値に対する達成度が
a：100%以上
b：90%以上～100%未満
c：80%以上～90%未満
d：70%以上～80%未満
e：70%未満

6 基準説明

目標値に対する達成度が100%以上をaとし、以下10%刻みで基準を設定した。

7 評価結果

26	27	28
a	a	b

指標名	グループホーム等の利用者数（人）
-----	------------------

担当課	障害保健福祉推進室	連絡先	222-4161
-----	-----------	-----	----------

1 指標の説明

グループホーム・福祉ホームの利用者（支給決定者）数

2 指標の意味

障害がある方の自立した地域生活への移行に資する各種ホームの活用状況を示す指標

3 算出方法・出典等

算出方法：グループホーム等利用者全数調査
出典：事業担当課調べ

4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	26年度	27年度		数値	根拠	達成度
数値	699	748	49人増	699	過去3年間の最高値	107.0%

	全国順位	中長期目標			根拠
		数値	目標年次	達成度	
数値					

備考	
----	--

5 評価基準

最新数値が
a：過去最高値以上
b：過去最高値未満～上中間値（最高値と平均値の間）以上
c：上中間値未満～平均値以上
d：平均値未満～下中間値（平均値と最低値の間）以上
e：下中間値未満

6 基準説明

当該指標については民間部門の寄与度が高いため、過去3年間の数値を基に、最高値以上をa、平均値以上をcとし、最低値も含めた按分で基準を設定した。
最高値：699人（平成26年度）
平均値：649人
最低値：604人（平成24年度）

7 評価結果

26	27	28
a	a	a

施策名	1402	自立した地域生活への移行促進
-----	------	----------------

指標名	自立支援医療の受給者数（人）
-----	----------------

担当課	障害保健福祉推進室	連絡先	2 2 2 - 4 1 6 1
-----	-----------	-----	-----------------

1 指標の説明

自立支援医療費（更生医療，育成医療，精神通院医療）の受給者数

2 指標の意味

障害がある方の自立した地域生活への移行に向けた医療費給付による支援状況を示す指標

3 算出方法・出典等

算出方法：各医療の受給者全数調査
出典：事業担当課調べ

4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	26年度	27年度		数値	根拠	達成度
数値	33,574	31,367	2,207人減	33,574	過去4年間の最高値	93.4%

	全国順位	中長期目標			備考
		数値	目標年次	達成度	
数値					

5 評価基準

最新数値が
a：過去最高値以上
b：過去最高値未満～上中間値（最高値と平均値の間）以上
c：上中間値未満～平均値以上
d：平均値未満～下中間値（平均値と最低値の間）以上
e：下中間値未満

6 基準説明

当該指標については，障害のある方の増加に伴い，医療の受給者数も増加が見込まれることから，過去4年間の数値を基に，最高値以上をa，平均値以上をcとし，最低値も含めた按分で基準を設定した。
最高値：33,574人（平成26年度）
平均値：30,560人
最低値：28,019人（平成23年度）

7 評価結果

26	27	28
a	a	c